

兵道けんじニュース

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

発行者 公明党甲府市議会議員

兵道 顕司

甲府市中村町 1 5 - 6

TEL/FAX 055-237-9529

2025. 1

VOL. 3 5

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2024年は肺の治療のため、下半期2度の入院生活を経験し、改めて健康の大切さを身をもって知った1年でした。

議員の本分は本会議に出席して市民福祉の増進のための政策を提言し、実現することにある、との政治信条から、闘病中も本会議出席を最優先に考え、9月定例会、12月定例会の本会議には、おかげをもちまして、出席することができ、代表質問で実績をつくることができました。



昨年の11月臨時会は、議会制度について再考させられる結果となったところですが、我々公明党議員の使命はどこまでも市民福祉の増進のために、その声を基に政策提言をしていくことにあると確信しています。

今後も非生産的ともいえる主導権争いからは一歩距離をおいて、政策実現に全力投球していきます。

これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](#)

(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

< 12月定例会代表質問の概要 >

造血幹細胞移植後のワクチン接種費用の助成制度について

問) 令和元年にわが会派が取り上げたときに、「国の定期接種化を要望している」との答弁がありました。こうした中昨年9月に県が市町村への補助制度を創設したことから市の対応を質しました。

答) 費用を計上した12月補正予算を提出しており、県の助成事業と本市の予防接種事業との整合性を図りながら、対象とするワクチンの種類や助成額について制度設計を行います。

予算成立後は速やかに、対象者や関係機関への周知に努め、希望する方が速やかに助成を受けられるよう事業開始に向けて取り組んでいきます。

農作物への有害な影響を与える鳥獣等の対策について

問) 農作物を食い荒らす有害鳥獣を生まないように、猟友会の協力を得て行っている有害捕獲と管理捕獲について、猟友会の方々の負担を軽減する支援策を講じるべきと考えます。

答) 有害鳥獣が里に下りてこないよう藪や耕作放棄地を解消する取組みを行うとともに餌となる農作物の残渣を放置しないよう農業者へ周知していきます。また管理捕獲等を行った場合に埋設などで処理できない鳥獣を甲府・峡東クリーンセンターに持ち込む際の手数料の減免措置など猟友会の負担軽減の方策について関係機関と協議するよう指示したところです。

こうふ愛醸成係の設置の経緯と取組みについて

問) これまで戻って来たいという背中を押すためのふるさと愛、「こうふ愛」について取り上げてきましたが、令和5年度から「こうふ愛醸成係」ができるまでになりました。その経緯と取組みについてお伺いします。

答) 「こうふ開府500年」を節目に様々な記念事業を行ったが、そのうち「こうふドリームキャンパス」、「私の地域・歴史探訪」、「甲府ラーニング・スピーチ」の3つの事業をこうふ開府500年記念事業のレガシー事業として位置づけ、また12月20日の「こうふ開府の日」記念事業を実施するため、所管する組織として「こうふ愛醸成係」を設置したところです。

こうしたことを通じて更なる「こうふ愛」の醸成を図るとともに、未来に向けた人づくりを鋭意推進してまいります。

ヴァンフォーレ おしろらんどの利用者サービスについて

問) 内外に大好評のおしろらんどですが、例えば年間パスポートなど甲府市民に有利な割引サービスを設けるべきでは。

答) 県都として中核市として多くの方に利用していただくために一律の低廉な料金設定をしているところです。

甲府城南側整備による新たなまちなかの魅力について

問) こうふ亀屋座の完成も間近となり、また動物園整備も順調に進んでいる中、いよいよ期待が高まっていますが、こうした資源を一つのストーリーで語ってまちの魅力を発信すべき。

答) 『江戸時代の芝居小屋をイメージした「こうふ亀屋座」で歴史と文化を感じ、城下のまちなみを歩きながら「小江戸甲府 花小路」で食事や買い物を楽しむ、そこから、オリオン通りをとおり、「かすがも〜る」から「春日あべにゆう」や、「銀座通り」へと回遊し、中央商店街や新たな再開発商業施設などで思い思いの時間を過ごし、更には、その先の遊亀公園附属動物園まで足を延ばし、家族で楽しい時間を過ごす。』そんなストーリーを発信していきたい。